

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当	
A-169	A-540	20-038	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Trends in the Burden of Chronic Liver Disease Among Hospitalized US Adults 成人アメリカ人の慢性肝疾患による入院負担の傾向			
執筆者			
Hirode G, Saab S, Wong RJ.			
掲載誌			
JAMA Netw Open. 2020 Apr; 3(4): e201997. doi:10.1001/jamanetworkopen.2020.199			
キーワード			PMID
慢性肝疾患、アルコール性肝硬変、非アルコール性脂肪肝疾患			32239220
要 旨			
目的： 慢性的肝疾患（CLD）の臨床的・経済的負担が急速に増加している一つの原因は、入院に関連している。この研究では CLD 関連入院の国のサンプルを用い、CLD 入院の臨床的・経済的負担を総合的に評価し、さらに人口統計的と病因別の違いを解析し、アメリカにおける CLD による入院負担の傾向を理解する。			
方法： 2012 年から 2016 年の成人の CLD に関する入院について、National Inpatient Sample の入院に関するデータを使用し、横断的研究を実施した。CLD 専門国際的疾患分類と ICD-9-CM と ICD-10-CM により CLD 入院を特定した。本研究において CLD に関する入院を人口統計学的情報（年齢、性別、人種と保険料）と臨床特性別に分析し、得られた結果で重みづけを行い、国の CLD に関する入院の年次変化を推定した。その他、院内死亡、入院コスト推定についても同様に分析した。			
結果： 平均 57.4 歳 (SD,14.4 歳)、男性が 582,197 人 (57.3%)、白人が 633,082 人 (62.3%) の合計 1,016,743 人の CLD 関連の入院患者がこの研究の解析対象となった。2012 年から 2016 年にかけて 100,000 人入院の内、CLD 関連入院は 3,056 人 (95%CI, 3,042-3,069) から 3,757 人 (95%CI, 3,742-3,722) へ、合計入院コストは 14.9 億ドル (95%CI,13.9 億-15.9 億ドル) から 18.8 億ドル (95%CI,17.6 億-20.0 億ドル) へ増加している。平均患者年齢は 2012 年の 56.8 歳 (SD,14.2 歳) から 2016 年の 57.8 歳 (SD,14.6 歳) へ、高齢者向け医療保険制度の割合も 41.7% (95% CI, 41.1%-42.2%) から 43.6% (95% CI, 43.1%-44.1%) へ増加している。C 型肝炎での入院患者の割合は研究期間を通じて減少傾向で、アルコール性肝硬変と非アルコール性脂肪肝疾患での入院患者の割合は増加している。死亡率は他の CLD と比較して、アルコール性肝硬変入院患者が 11.9% (95%CI,11.7-12.0%) と最も高い。肝細胞がんも 9.8% (95%CI,9.5-10.1%) と死亡率が高い。コスト負担は全ての病因で増加しており、特に高負担はアルコール性肝硬変で 22.7 億ドル (95% CI, 22.1 億-23.2 億ドル)、C 型肝炎で 22.6 億ドル (95% CI, 22.1 億-23.2 億ドル)であった。肝硬変、肝硬変合併症と共存症は CLD の臨床的、経済的負担を更に増加させた。			
結論： 研究期間において、CLD 関連入院患者の国の推定コストは 811 億ドルに達している。アメリカでの CLD 入院患者の負担は、併存疾患の増加と CLD 患者の高齢化のために増加する可能性がある。			